

第 15 回リーディングセミナー オーガナイザー報告書



氏名・学年	平野 港・博士課程 2 年（獣医・公衆衛生学教室）
開催日時/場所	2015 年 10 月 22 日 16:00/獣医学研究科講義棟 講堂
参加人数	院生 66 人、その他 13 人

講演タイトル	Leukocyte immunoglobulin-like receptor B1 is a co-receptor for antibody-dependent dengue infection
講演者名	Dr. Eng Eong OOI
職名/所属/国	Associate professor, Deputy Director, Program in Emerging Infectious Diseases, Duke-NUS Graduate Medical School, Singapore

招聘経緯・理由	招聘理由 1. Dr. Ooi は世界的に重要な感染症である Dengue 研究における第一人者である。また、医師として人の臨床研究から分子生物学的な側面まで幅広い研究活動を行っている。 2. Duke-NUS 新興感染症プログラムのサブコーディネーターであり、シンガポールでの新興感染症対策の現状を知ることができる。 3. オーガナイザー（平野・古山）の興味がある分野であるウイルスゲノム RNA の構造機能・抗体依存性感染増強（ADE）に関する論文を近年発表している。 招聘にあたって 招聘メールを送った際には全く面識はなかったが、とても前向きな返事を頂けた。学会の参加予定などがあり日程調整が若干難航したが、最終的には問題なく講演の為に来日して頂けた。
セミナー、質疑応答について	セミナー内容 セミナーは 2 部構成であり、前半部では Dengue virus による抗体依存性の自然免疫系抑制メカニズムの発見について講演頂いた。後半では生体において ADE 現象が存在するのか、未発表の人の臨床研究データを交えつつ講演頂いた。 当日のプログラム進行 講演 80（予定：90）分、質疑応答 20（予定：30）分 質疑応答 主にウイルス学的な視点から、感染現象と免疫応答について活発な質問が行われた。（日本人 4 名）
セミナー外の活動	・ 大学院生の研究内容のディスカッション（平野・武藤・古山） ・ 人獣共通感染症リサーチセンターの案内・見学 ・ セミナー後の歓迎会・交流会
反省点・感想等	セミナーの反省点 セミナー時間を比較的長めに確保したこともあり（講演 90 分+質疑応答 30 分）、講演内容は充実していたと思う。しかし、やや講演時間が長いという意見もアンケートあり、集中力を考えると限界の長さかもしれない。また、マイク音量や会場の温度設定などを見直すべきであった。 セミナー運営を経験して メールでの英語のやり取りははじめてであり、Henshaw 先生や教室の留学生のアドバイスも受けつつ行ったが、不完全な部分もあったと思う。また、セミナー以外の場でも当然会話は英語であり、よい研鑽の機会であったと思う。コーディネーターに関して不足な点も多くあったと思うが、素晴らしい研究内容について講演頂いた Ooi 先生、多くのサポートをして頂いた学生支援委員の先生方、横さんにこの場を借りて御礼申し上げたい。

